



シャル・ウィ・ダンス?

初心者社交ダンス体験会 11月25日
グリーンヒルズ津山リージョンセンター

最近ブームとなっている社交ダンス。このたび未経験者や、若いころ少しだけ経験したことがある人を対象に体験会が開かれました。女性を中心に約20人が参加し、グリーンヒルズ津山友の会の社交ダンスクラブ「ひまわり」と「土曜会」のメンバーが、簡単なステップを手取り足取り指導。

最初は緊張気味だった表情もしだいに和み、リズムに合わせて心地よい汗を流していました。

“笑い”は国境を越えて

ひと・ふれあい講演会
12月3日 勝北公民館

海外に移住して7年、世界20か国で公演を行ってきた国際派落語家の笑福亭鶴笑さんの公演が行われました。「落語は庶民の文化によってはぐくまれ、分け隔てなくみんなが幸せになれる“本当の笑い”を与えてくれます。その落語が海外でも認められ、とてもうれしい」と落語の良さを紹介。修業時代の苦労や今だからわかる師匠の気持ちなどの経験談をユーモア交え軽妙な語り口調で話していました。切り絵やパペット落語も披露し、満員になった会場からは笑いと拍手が絶えませんでした。



美作の美しき表情の数々

津山市写真展「みまさかの現在Part3」
11月22日～27日 文化展示ホール

美作地域の「今」の姿を同時代の人々に伝え、未来へと受け継いでいこうと毎年開催されている写真展。今年も市内外からたくさんの応募があり、今年は昨年をしのぐ192点が出展されました。祭りや農作業で見せる人々の笑顔、乱舞するホタルや自然の姿など美作にある美しい表情をとらえた作品の数々が展示されました。



今月のフラッシュ

津山の秋の味覚に舌鼓

自然薯収穫体験ツアー

11月23日、25日、26日 高倉地内ほか

津山市特産の自然薯を自らの手で掘り出し、それを食べられる日帰り体験ツアー。夫婦や親子連れなど兵庫県の各地から3日間で104人が参加しました。高倉地内にある自然薯の畑にバスで到着した一行は、津山自然薯生産組合の手ほどきを受けながら、慣れない手つきで自然薯を掘り出していました。その後の昼食では、山かけご飯や山かけうどん、ムカゴなどに舌鼓。神戸・芦屋から親子三代で参加した戸嶋利雄さんは「六甲山のふもとで自然薯のツルやムカゴを見てはいましたが、実際に掘ったのは初めて。来年も参加してみたいです」と孫子に囲まれ顔をほころばせていました。その後、一行は阿波温泉で汗を流して帰途に。日帰りでしたが、秋の津山を満喫できた休日になったと思います。



家族・地域社会を元気に!

つやま産業塾市民公開講座
12月3日 津山国際ホテル

「自ら考え、自ら行う人づくり」を理念に掲げ、毎年市民公開の講座を開催しています。今回は、旧勝田町出身で、総務省事務次官も勤めた林省吾さん(財団法人地域創造理事長)を迎えて講座が行われました。「人が生きていくうえで最も大切な生活単位は“家族”と“地域社会”。今の時代だからこそ元気を出さないといけない」と話し、小学校を拠点とした総合的な地域づくりなど具体的な例もあげながらこれからの地域社会のあり方を講演。道州制について質問も出るなど、受講者170人は熱心に聞き入っていました。

